

令和3年度 第二回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和3年10月12日(火)

2 主な協議内容

- ・都区間の3つの協議事項について都側から現状説明後、質疑。
- ・都は、千客万来施設事業に関して、事業者から完成時期を10ヶ月延伸する申し出があったが都は了承していないことについて説明。また、地下鉄8号線の延伸に関して、国の交通政策審議会からの新たな答申や、地下鉄ネットワークの充実に関する都と国の合意等について説明。

(1) 土壌汚染対策について

区側	都側
・地下水位の上昇抑制対策としての有孔管の工事状況と、設置後の集水のモニタリングは行っているのか。	・工事は地中障害物が見つかったため2ヶ月遅れの9月末に完了した。今後、モニタリングしていく。
・直近の地下水位の測定結果で、6街区と7街区の一部で4mを超えているが、原因は何か。	・7月、8月の降雨が例年の3倍程度であったことから、緑地帯などの一部で水位が上昇した箇所もあるが、局地的なものに留まっている。
・専門家の意見は、3物質(※)のモニタリング結果について見解を述べることで繰り返されているが、その他の追加対策等の必要性の意見はないのか。専門家委員の役割は果たされているか。 (※) ベンゼン、シアン、ヒ素	・専門家の先生方には、空気や地下水質調査の結果をホームページで公表する前に意見を求めており、その中で、土壌汚染対策については、中・長期的視点に立って、特に安全対策が必要な物質について、意見をいただいている。

(2) 千客万来施設事業等について

区側	都側
・事業者から聴取している工期の延伸理由は何か。	・コロナ禍に伴う経営環境の変化、資金調達の調整やオリンピックの開催に伴う交通規制などを延伸理由に挙げている。 ・現在、この理由が10ヶ月延伸にどう影響しているのかを厳しく精査している。
・コロナの影響を主張する事業者に対して、都はどのように考えているのか。コロナであるならしょうがないと考えているのか。	・都は、事業者と基本協定を結び、令和4年12月完成ということで事業を実施してきた。 ・コロナの感染拡大ということだけで、単に延伸を認めることはできないと考えている。

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定書に定められた完成時期については、本協議会で都に再三確認してきた。延伸について、区はとても容認できるものではない。 ・千客万来施設の確実な整備について区が約束したのは東京都。都は区との約束をどう認識しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千客万来施設については、豊洲移転の3つの条件のうちの1つということで都として大変重く受け止めている。 ・延伸を了承しておらず、事業者と調整中であり、今後改めて対策等を説明する。

(3) 交通対策について（地下鉄8号線の延伸）

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・国は関係予算を来年度予算で概算要求しているが、東京都の8号線に係る来年度予算のスタンスを伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都知事と国土交通大臣で、財源確保についてもきちんとやっていくことについて合意が図られており、都としても予算措置をしっかりとやっていきたいと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・東京メトロの有価証券報告書の記載について、但し書は追加されたが、新線建設を行わない方針とする記載については変更されていない。この文章構成となったことについて、東京メトロから説明があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の有価証券報告書の記載事項の変更は、7月の答申及び答申後の国と都の合意を踏まえ、8号線（豊洲～住吉間）について事業化に向けて取り組むという東京メトロとしての考え方を示したものと聞いている。